



2月に入りますます寒さが増してきましたね。暦の上では立春を迎えますが、まだ寒さの厳しい時期です。空気が乾燥することで風邪をひきやすくなるので、手洗いうがいの習慣を心がけ、栄養バランスのとれた食事と規則正しい生活で元気に過ごしましょう！

～節分とは？～

「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日、邪気祓いとして、「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをしたり、恵方巻を食べたりします。

～なぜ2月3日？～

節分という言葉には「季節を分ける」という意味があります。昔の日本では、春は一年の始まりとされ、特に大切にされたようです。そのため、春が始まる前の日、つまり冬と春を分ける日を節分と呼ぶようになりました。春が始まる日とされる立春は2月4日頃とされていたため、その前日が節分とされています。ちなみに、来年は2月2日が節分の日とされているので、子どもと一緒に確認してみてください！

△節分にやってはいけないこと△

○生の豆をまくこと

鬼に有効だとされる豆は、生の豆ではなく、炒めた豆とされています。

○恵方巻を切ること

縁を切る・福を切る・福を逃すなどの意味合いから切らない方が良いとされています。

また、恵方巻を食べているときに言葉を発すると、人間の欲につられて鬼がやってくるとされているので、食べる時は無言で食べるようにしましょう👹



食事のマナーを見直してみよう

最近、食器の配置が逆になっていたり、肘をついて食べていたり、足が机からはみ出している姿をよく見かけます。声掛けをすると、子どもたちなりに理解しているのが分かるのですが、まだ習慣化が出来ていないように感じます。ぜひ、お家でも正しい食器の置き方や食べ方について、クイズなどにしながら楽しく覚えていけるように声掛けをしてみてください。

また、12月からひまわり組とばら組のみ、大盛りごはんにするかの選択を子ども達にしてもらっています。大盛りにする場合は陶器茶碗となるため、乱暴に扱くと壊れてしまう物であるという説明をしたところ、自分達で「こうしたら危ないね」と考え、注意し合う姿が見られました。そのおかげもあり、幼児組全体が食器の扱い方に意識をするようになってきているところなので、定着するような声掛けをしていけたらと思っています。